

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

回復期リハビリテーション病棟における高齢の整形疾患患者への Regimen Comprehension Scale、Function Independence Measure を用いた自己管理導入の検討に関する研究

1. 研究の対象

2017年1月より2017年5月までに当院回復期リハビリテーション病棟へ入院または転棟した65歳以上の整形疾患を有する方

2. 研究目的・方法

研究目的

当院では回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さまの服薬理解能力スケール（RCS）により自己管理導入が可能かどうか判断していますが、RCSで点数の低い患者さまや評価不能患者さまでも自己管理を導入できる場合が散見されます。RCSで点数の低い患者さまや評価不能患者さまでは、機能的自立度評価表（FIM）の社会的認知項目（認知FIM）が自己管理導入の指標となりうるか検討します。

研究期間

施設院長承認後 ～ 2017年11月4日

研究方法

- (1) 研究の許可を得た後、本研究についての情報をホームページ上に公開及び院内に掲示します。
- (2) 該当する患者さまを研究対象者として登録し、登録時に下記の臨床情報を診療録より取得します。
 - ① 年齢
 - ② 性別
 - ③ RCS点数
 - ④ 認知FIM点数
 - ⑤ 自己管理導入後の服薬コンプライアンスの状況
- (3) 患者さまのRCS、認知FIMを評価し、自己管理導入できれば継続可能かどうか確認します。なお、自己管理継続可能とは、退院までに服薬コンプライアンスを保つことができ、看護師の指摘により看護師管理にならない患者さまを自己管理継続可能とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、RCS点数、認知FIM点数 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大垣徳洲会病院 薬局 遠藤 秀竜

〒503-0015 岐阜県大垣市林町 6-85-1

TEL：0584-77-6110

(2017年8月8日作成)